

関東大和ハウスOBOG会サイクリング部会活動実績

【2025（令和7）年度】

プランリーダー・文責 森和晴

【関東三大堰CR（茨城県）】（福岡堰～岡堰）

*活動年月日：2025年4月3～4日（走行距離：42km 積算走行距離：1611km 天気：雨・晴）

*参加者：大澤秀一さん、四方順二さん、田淵義明さん、手塚敏文さん、森和晴（計5名）

*概要

関東三大堰は茨城県南部小貝川に設けられ、豊田堰・岡堰・福岡堰を指します。

江戸時代初期を初源とするこの三大堰は、その規模とこの時代を代表する溜井方式の堰としては関東地方有数のものです。これを主導した伊那氏は後に関東郡代とも称され、関東流と呼ばれるその治水・利水技術は江戸時代を代表する土木技術であり今回は先人達が治水と米増産にかけた想いを知る為のコースでもあった。

4月2日より天候が悪化し、3日当日は雨。少々の雨であれば走る覚悟であったが降雨量が多く当日のライドは諦め宿泊予定の水海道市の野村屋旅館に午後5時集合に変更。久々の宿泊を伴う活動で夜の懇親会はいつものように盛り上がり明日のライドの英気を養った。



（常総市水海道、野村屋旅館にて懇親会）

4日、朝食を済ませ8時玄関前集合。安全・熱中症対策ミーティング後セブンイレブンにて熱中症対策のドリンク購入後いざ出発。

常総取手線から小貝川・大和橋手前を左折し小貝川右岸を進み福岡堰着。堰を渡ると左岸より下流に向かう堰の周辺には約600本の桜並木があり、この時期は（福岡堰さくら公園）として多くの花見客でにぎわう中、歩行者に注意しながら満開のサイクリングロードを進む。



桜トンネルを走る爽快感を楽しみながら福岡堰副用水路水門着。小休止後小貝川左岸を大和橋～伊奈橋～常磐高速道～つくばエクスプレス～稲豊橋を経て岡堰着。岡堰を渡り右岸、茨城百景岡堰碑前にてコーヒータイムの小休止。つぎは豊田堰に向かう予定であったが、暑さ並びに部員の体力消耗が激しいと判断し豊田堰は諦め右岸より稲豊橋を渡り、左岸を車の駐車してある野村屋旅館を目指す。途中土手で弁当を食し、2時無事旅館着。桜の花を見ながらの楽しいライドであった。

